

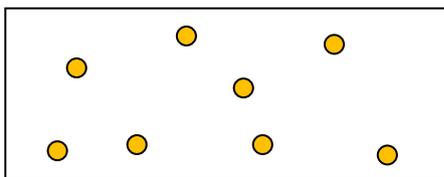
バスト再生医療(及び脂肪再生医療)

自分のおなかや太ももなど、余分についている脂肪を吸引し、その脂肪をバスト及び脂肪が少ない場所へ注入する際、注入した脂肪の生着率がより良くなる治療法です。

- ①少量(約 20 cc)の脂肪と培養に必要な血液(100cc)を採取します。
脂肪の中から脂肪幹細胞を取り出し、約 1 ヶ月かけて培養を行います。
脂肪幹細胞とは脂肪にくっついていて小さな細胞のことであり、この細胞は主に血管になる働きを持っています。

脂肪⇒  ←脂肪幹細胞

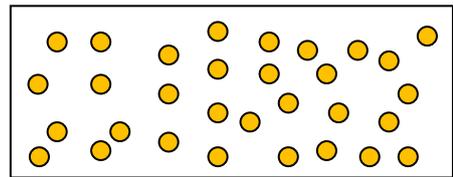
脂肪から脂肪幹細胞を取り出す



1 ヶ月間培養する

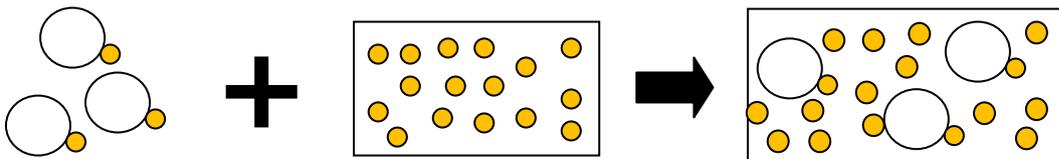


数万～数億個へ増やす



※細胞の増え方が思わしくないなどの場合は、再度脂肪を採取させて頂く事がございます。

- ②培養ができたことを確認したのち、ご自身の気になる部分の脂肪を吸引します。
吸引した脂肪に培養した脂肪幹細胞を加え、バスト等脂肪の必要な部位にこれを注入します。



気になる脂肪を吸引し、培養した脂肪幹細胞と合わせてバストへ注入する

脂肪吸引を行う際、脂肪に栄養を送る血管を引きはがしてしまいます。つまり取り出した脂肪は血管が付いていない脂肪なのです。この血管が付いていない脂肪をバスト等に注入しても、脂肪が生きていくために必要な血管がすぐには再生されません。その影響でせっかく注入した脂肪が死んでしまい、注入した脂肪が約20%～40%しか残らないのです。しかしこのバスト再生医療は脂肪が吸収される前に脂肪に栄養を送る血管がより早く再生でき、注入した多くの脂肪が生き残ることを目的とした治療方法なのです。